

## 2. 完成イメージ

〔I〕全体イメージ図

a. 現状写真と整備後のイメージ

a. 現状写真と整備後のイメージ

①新入場施設ゾーン

〈現状〉



〈整備後〉



既存第1駐車場に観光の拠点となる新入場施設を整備し、観光総合案内をはじめ、観光ギャラリーや土産物ショップ、カフェレストランを設けます。建物は阿武隈高原の山並みに調和するデザインとし、あぶくま洞への入口、さらには田村市観光の起点としての象徴性を持たせます。

②既存施設群ゾーン

〈現状〉



〈整備後〉



石とミネラルをテーマに体験・体感型の施設へ改修します。仙台平の自然に関する展示や石をテーマにしたワークショップスペース、原石探し体験等の場を計画します。

③イベント広場ゾーン

〈現状〉



〈整備後〉



切羽を背景に芝生広場と屋根付きの常設ステージを整備します。ここではプロジェクションマッピングのイベントを開催したり、自由な遊び場となると同時に、市民活動の場としても利用可能なように計画します。

④アトラクションゾーン

〈現状〉



〈整備後〉



デジタル技術を活用したアートギャラリー(コンテナギャラリー)を中心として、入洞後の気分をリフレッシュするシンボルツリー広場、子どもたちが思いっきり遊べる遊びの広場、四季の移ろいを感じる森の広場等を既存樹木を活かして整備します。

⑤プロムナードゾーン

〈現状〉



〈整備後〉



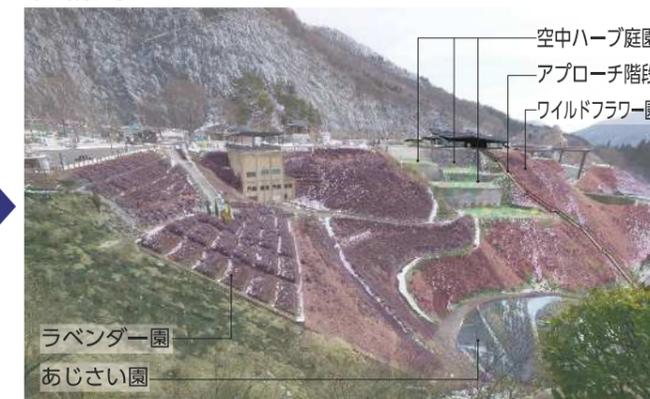
歩行者専用の空間として、新入場施設からあぶくま洞入口までの主動線を形成します。床の舗装を変更し、歩車分離を明確にします。フォトスポットや軽食用のパヴィリオン等を計画し、いぎわいがあり、楽しみながら歩ける空間とします。景観に配慮し、電柱の地中化を計画します。

⑥ラベンダー園ゾーン

〈現状〉



〈整備後〉



既存を活かしなが庭園の面積を拡張し、美しい景観を作ります。ラベンダー園やあじさい園は既存をそのまま活用し、天地人館跡地に段々地形を活かしたハーブ・バラのテラス庭園を新たに整備します。さらにその南側に種を蒔くだけで手間のかからない植物を植えて景観を整えます。ラベンダー園下の駐車場と新入場施設をつなぐ直通階段を整備し、来客者の利便性を向上させます。